

# 環境経営活動レポート

2023年6月1日～2024年5月31日(第22期)



福山産業 株式会社

2024年6月30日 作成日

## 目 次

①	環境経営方針	P.1
②	会社概要	P.2
③	環境経営管理実施体制	P.3
④	許可の内容	P.4
⑤	収集運搬車両	P.5
⑥	環境経営目標	P.7
⑦	環境経営活動計画	P.8
⑧	環境経営目標の実績	P.9
⑨	環境経営活動計画の取組結果とその評価 及び次年度の取組内容	P.10
⑩	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P.11
⑪	代表者による全体評価と見直しの結果	P.11

# ① 環境経営方針

## 基本理念

当社は、建造物解体工事業・産業廃棄物収集運搬業を業とし、環境との共生・調和・環境への取り組みを最重要課題として認識し、自ら責任を持ち、全社一丸となって環境との共生・調和に考慮した事業活動に取組み建造物解体工事業に伴う廃棄物を分別し再資源化(リサイクル)に取り組み循環型社会に貢献します。

産業廃棄物収集運搬車両の燃費目標達成車両台数の増大、環境負荷を継続的に改善していきます。

以上を達成するために、次のような経営理念として対処します。

当社は、持続的な発展のためにSDGs(持続可能な開発目標)に取り組んでいます。

当社は、SDGsを実施するためにCSR(企業の社会的責任)を認識しています。

当社は、CSRを実現するためにESG(環境・社会・企業統治)に取り組めます。

当社は、ESGの達成のためにEA21に取り組んでいます。

## 行動指針

- ① **事業を通じた環境保護**
  - 事業活動において、SDGs、CSR、ESG、EA21を通じ環境保護に寄与できるよう努めます。
- ② **資源・エネルギーの効率的利用**
  - 環境への負荷を認識し、省資源、省エネルギー、そしてグリーン購入に努めます。
  - 産業廃棄物収集運搬時に常に使う燃料による排気ガスの環境負荷を認識し改善に努めます。
  - 収集運搬業では収集運搬車両のエコ・ドライブに努めます。
  - 再資源化(リサイクル)の向上に努めます。
  - 太陽光発電設備設置に伴い、自家発電によるCO2排出削減に努めます。
- ③ **環境関連法規の遵守**
  - 関連する環境法規・条例及び当社が同意したその他要求事項を遵守します。
- ④ **継続的環境経営改善の実施**
  - 環境経営保全に関する目的・目標を設定し、取組み結果を見直すことにより、継続的な環境経営改善に取り組めます。
- ⑤ **環境啓発活動と地域・社会貢献活動の推進**
  - 環境活動レポートを公表する等、社内外に対して環境保護に関する情報の提供を行い、また啓発、教育活動を推進するとともに、地域社会の一員として地域・社会貢献活動の推進に努めます。
  - 地域の環境美化に努めます。

※ 環境経営方針は、すべての従業員に周知します。

2023年 6 月 1日

福山産業 株式会社

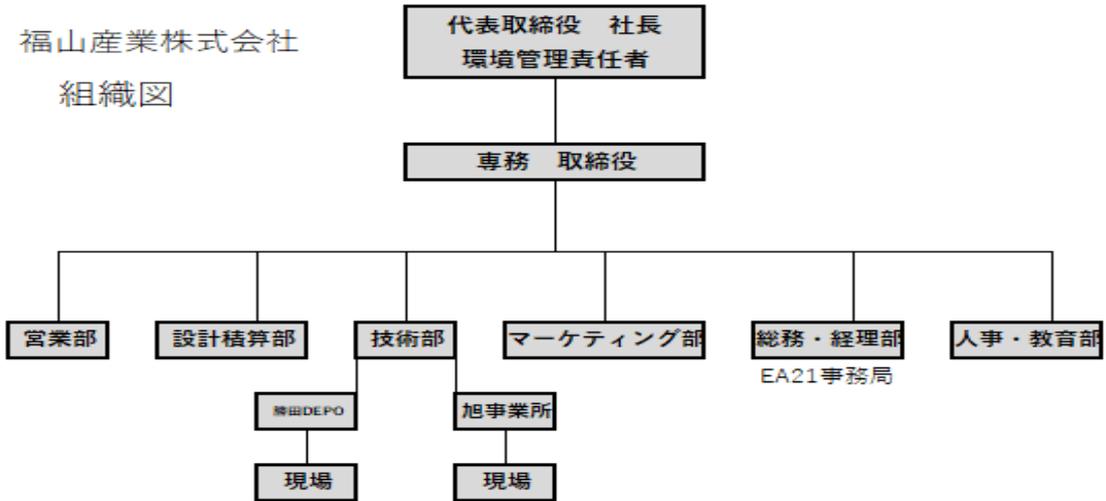
代表取締役 福山 友和

## ② 会社概要

商号	福山産業 株式会社	
設立	平成15年 1月 31日	
資本金	2,000万円	
売上高	541,39万円	
代表者	福 山 友 和	
環境管理責任者	福 山 友 和	
担当者 (EA21事務局)	大貫 琴音	担当者連絡先 e-mail: oonuki.k@fukuyamasangyo.co.jp
所在地	<本社> 川崎市高津区千年610番地5 <旭>横浜市旭区川井宿町59-4 <勝田DEPO>横浜市都筑区勝田町1294	
電話番号	044-740-6692	
FAX番号	044-740-6693	
従業員数	27名(2023/5/31時点)	
事業所	本社・旭事業所・勝田DEPO	
事業内容	建造物解体工事業 / 産業廃棄物収集運搬業 / フロン類回収業	
年解体工事件数	163 件	
収集運搬量(自社)	2,233.532 t / 年	
収集運搬量(委託)	5,665.475 t / 年	
収集運搬量(合計)	8,115.810 t / 年	
回収してきたフロン類の量 (2023/4/1~2024/3/31)	23.65 kg / 年	
フロン類破壊事業者に 引き渡した量 (2023/4/1~2024/3/31)	23.65 kg / 年	

承認	作成
社長	大貫

### ③ 環境経営管理実施体制



環境経営システムに関する 責任・権限		代表取締役社長 福山 友和
役職	責任および権限	
社長	1. 環境管理責任者の任命 2. 代表者による経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。 3. 環境方針経営の制定 4. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 5. 環境経営システムの定期的見直しの実施 6. 社内情報の外部公開可否決定	
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施および維持するための処置 2. 推進機関であるEA21EMS事務局の責任者として事務局運営 3. 環境経営システムの教育・訓練の計画・実施責任者	
エコアクション事務局	1. 環境経営活動レポート作成準備管理, 集計, 環境管理責任者補佐	
取組担当責任者	1. 部門の環境経営システムの総括責任者	
社員	1. 環境経営目標の達成するために各自の役割を把握し活動する	

④ 許可の内容

建設業の許可			備考	
都道府県及び政令都市	積替保管	許可所得年月日及び有効期限	許可番号	許可を受けた建設業
神奈川県	有 (無)	令和5年2月28日 令和10年2月27日	(特-4)第 67484号	解体工事業、建築工事業、左官工事業、石工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鉄筋工事業、ガラス工事業、防水工事業、熱絶縁工事業、大工工事業、とび・土工事業、屋根工事業、鋼構造物工事業、板金工事業、塗装工事業、内装仕上工事業、建具工事業
神奈川県	有 (無)	令和5年2月28日 令和10年2月27日	(般-4)第 67484号	造園工事業

産業廃棄物収集運搬業				汚泥	廃油	プラスチック	紙くず	木くず	繊維屑	動植物性残渣	金属屑	ガラス・コンクリート陶器屑	鉱さい	がれき類
都道府県及び政令都市	積替保管	許可所得年月日及び有効期限	許可番号											
神奈川県	有 (無)	令和2年4月20日 令和9年3月30日	第01403102476号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
東京都	有 (無)	令和3年4月7日 令和10年4月6日	第13-00-102476号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
千葉県	有 (無)	令和2年9月28日 令和9年9月27日	第01200102476号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
宮城県	有 (無)	令和4年4月18日 令和11年4月17日	第0400102476号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
群馬県	有 (無)	平成30年7月11日 令和7年7月10日	第01000102476号		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
茨城県	有 (無)	令和3年9月16日 令和8年9月15日	第00801102476号		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
静岡県	有 (無)	令和3年12月7日 令和8年12月6日	第02201102476号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

特別管理産業廃棄物収集運搬業				特定有害産業廃棄物								
都道府県及び政令都市	積替保管	許可所得年月日及び有効期限	許可番号	鉱さい	廃石綿	ばいじん	燃え殻	廃油	汚泥	廃酸	アルカリ	汚泥 指定 下水
神奈川県	有 (無)	平成30年8月13日 令和7年8月12日	第01453102476号	●	●	●	●	●	●	●	●	
東京都	有 (無)	令和3年4月7日 令和10年4月6日	第13-50-102476号	●	●	●	●	●	●	●	●	
仙台市	有 (無)	令和2年3月16日 令和8年10月22日	第05452102476号		●							

第一種フロン類回収業				回収の対象とする第一種特定製品の種類等及びフロン類の種類							充填しようとするフロン類なし
都道府県及び政令都市	許可所得年月日及び有効期限	登録番号	種類								
			エアコンデションナー			冷蔵・冷凍機器		充填50kg以上			
			CF C	HCF C	HFC	CF C	HC FC	HFC	全てなし		
神奈川県	令和5年11月30日 令和9年11月29日	神(気水)第1-1552号	●	●	●	●	●	●	●		
東京都	平成19年12月6日 令和9年12月5日	第13103064号	●	●	●	●	●	●	●		
埼玉県	令和4年12月28日 令和9年12月27日	第19140109号	●	●	●	●	●	●	●		
千葉県	令和6年2月13日 令和11年2月12日	第12A142204号	●	●	●	●	●	●	●		

車 両 ・ 重 機 ・ ア タ ッ チ メ ン ト 一 覧 表

自動車登録番号	メーカー	形状	車種	最大積載量
横浜 130 す 1018	いすゞ	ダンプ	4ts	3,850 kg
横浜 130 そ 1023	日野	ダンプ	4ts	3,550 kg
横浜 130 た 1021	いすゞ	脱着装置付コンテナ専用車	4tAR	3,900 kg
横浜 130 ち 1025	日野	脱着装置付コンテナ専用車	4tAR	3,950 kg
川崎 130 さ 1013	いすゞ	ダンプ	3tユニック	3,000 kg
川崎 430 に 1020	いすゞ	ダンプ	3tD	3,000 kg
川崎 480 う 4036	スズキ	キャブオーバ	軽トラ	350 kg
川崎 480 え 6022	スズキ	キャブオーバ	軽トラ	350 kg
横浜 430 て 1027	いすゞ	キャブオーバ	2t平	2,000 kg
川崎 430 て 1026	いすゞ	脱着装置付コンテナ専用車	3tAR	3,000 kg
川崎 130 そ 1028	日野	脱着装置付コンテナ専用車	4tAR	3,650 kg
横浜 430 は 1031	いすゞ	ダンプ	3tD	3,000 kg
川崎 130 さ 1032	いすゞ	ダンプ	4tD	3,600 kg
横浜 430 と 1035	いすゞ	ダンプ	3tD	3,000 kg
横浜 130 ち 1033	日野	キャブオーバ	3tユニック	3,000 kg
横浜 430 ち 1034	いすゞ	脱着装置付コンテナ専用車	3tAR	3,000 kg
横浜 130 せ 1036	いすゞ	ダンプ	8tD	7,200 kg
横浜 130 さ 1037	いすゞ	脱着装置付コンテナ専用車	4tAR	3,600 kg
自動車登録番号	メーカー	形状	車種	最大積載量
横浜 483 す 3300	スズキ	バン	エブリイ	860 kg
川崎 483 い 6600	スズキ	バン	エブリイ	350 kg
川崎 583 そ 2233	スズキ	箱型	アルト	- kg
川崎 483 い 2200	スズキ	バン	エブリイ	350 kg
横浜 538 も 5500	トヨタ	ステーションワゴン	シエンタ	- kg
川崎 583 さ 7700	スズキ	箱型	アルト	- kg

車両・重機・アタッチメント一覧表

No	型式(製品名)	メーカー	機番	品名	最大荷重
勝田	02-8FD30	トヨタ	A8FDJ35-67755	フォークリフト	2,490 kg
旭01	FD20T3	TCM	2N103040	フォークリフト	2,000 kg
旭02	8FD15	トヨタ	8FD18-11716	フォークリフト	1,500 kg
No	型式(製品名)	メーカー	機番	品名	バケット容量
101	GV-30L	タグチ工業	2815	解体用つかみ機:ハサミ	0.13
102	GV-30S	タグチ工業	2215	解体用つかみ機:回転フォーク	0.13
103	GV-30S	タグチ工業	2326	解体用つかみ機:回転フォーク	0.13
104	VXS-25	古河ロックドリル	-	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:大割	0.13
105	TM-40	TOKU	MC400201	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:小割	0.13
106	TNB-2E	東空販売	1125	ブレーカー	0.13
107	GV-30L	タグチ工業	-	解体用つかみ機:ハサミ	0.13
108	GV-30S	タグチ工業	2177	解体用つかみ機:回転フォーク	0.13
109	GV-30S	タグチ工業	2153	解体用つかみ機:回転フォーク	0.13
110	TM-35B	TOKU	MC35B0078	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:小割	0.13
111	TNH-190	東空販売	213515	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:大割	0.13
112	TNB-3NB	東空販売	12694	ブレーカー	0.13
113	RFG15H-2	コベルコ	N201-167	解体用つかみ機:ハサミ	0.13
188	GV-32S	タグチ工業	0135	解体用つかみ機:回転フォーク	0.13
201	GV-60S	タグチ工業	2324	解体用つかみ機:回転フォーク	0.25
202	TD-60A	TOKU	DS60A0135	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:大割	0.25
203	MC-60	タグチ工業	MC600173	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:小割	0.25
204	MP-60A	タグチ工業	MP60A0082	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:ベンチャー	0.25
205	GV-60S	タグチ工業	3148	解体用つかみ機:回転フォーク	0.25
206	GV-60S	タグチ工業	3321	解体用つかみ機:回転フォーク	0.25
207	GV-60S	タグチ工業	2484	解体用つかみ機:回転フォーク	0.25
208	D-60A	タグチ工業	D61A0093	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:大割	0.25
209	MC75B	タグチ工業	0077	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:小割	0.25
210	VS-9	フルカワ	2137	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:小割	0.25
211	S-60	オカダアイヨン	4125	ブレーカー	0.25
212	GV-60S	タグチ工業	2792	解体用つかみ機:回転フォーク	0.25
213	GV-60S	タグチ工業	2309	解体用つかみ機:回転フォーク	0.25
401	GV-120S	タグチ工業	-	解体用つかみ機:回転フォーク	0.45
402	TM-121DM5A	TOKU	0052	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:マグ小割	0.45
403	MFP-120A	ユタニ工業	0185	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:ベンチャー	0.45
404	GV-120S	タグチ工業	2952	解体用つかみ機:回転フォーク	0.45
405	D-131A	タグチ工業	D131A0089	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:大割	0.45
406	OSC-52V	オカダアイヨン	SC6E316	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:小割	0.45
407	VS15	古河ロックドリル	2469	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:小割	0.45

## ⑥ 環境経営目標

No	環境経営方針項目		基準値	年度目標			
				2022年度 21期 (2022.6.1~2023.5.31)	2023年度 22期 (2023.6.1~2024.5.31)	2024年度 23期 (2024.6.1~2025.5.31)	
1	二酸化炭素 排出量の削減	二酸化炭素排出 量の削減	CO <sub>2</sub> 排出量	200,000 kg-CO <sub>2</sub> /年	200,000 kg-CO <sub>2</sub> /年	200,000 kg-CO <sub>2</sub> /年	200,000 kg-CO <sub>2</sub> /年
			200,000				
		燃費目標達成車 両台数の増大	軽油燃費	5.00 km/L	5.00 km/L	5.00 km/L	5.00 km/L
			5.00				
2	一般廃棄物排出量の削減		90 kg/年	65 kg/年	90 kg/年	100 kg/年	
3	産業廃棄物の再資源化(リサイクル) リサイクル法に基づく (木くず、コンクリート破片、アスファルト・コ ンクリート破片) 自社分		% / 年	70%	70%	70%	
3	産業廃棄物の再資源化(リサイクル) リサイクル法に基づく (木くず、コンクリート破片、アスファルト・コ ンクリート破片) 委託分		% / 年	70%	70%	70%	
3	産業廃棄物の再資源化(リサイクル) リサイクル法に基づく (木くず、コンクリート破片、アスファルト・コ ンクリート破片) 合計分		% / 年	70%	70%	70%	
4	水使用量の削減		水道使用量 300 m <sup>3</sup> /年	276 m <sup>3</sup> /年	300 m <sup>3</sup> /年	350 m <sup>3</sup> /年	
5	化学物質の削減		(PRTR法の対象物質は取り扱っていない)				
6	グリーン購入の推進		グリーン購入 マニュアルの作成	マニュアルに基づく 注文の実施	マニュアルに基づく 注文の実施	マニュアルに基づく 注文の実施	
7	環境配慮サービスの提供		紙使用量	90,000 枚/年以下	90,000	90,000	90,000
			90,000				
			現場周辺清掃回数	50 回/年	50	50	50
			50				
エコキャップ回収量	3,500 個/年	3,500	3,500	3,500			
3,500							

注) 二酸化炭素排出係数はH25年東京電力実績の0.530kg/kWhを適用した。

## ⑦ 環境経営活動計画

環境経営目標項目		取組項目	取組内容
二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素排出量の削減	空調の適正管理	・暖房温度は22℃で設定 ・冷房温度は28℃で設定
		照明の適正管理	・不在場所や休憩時の消灯
		エコドライブの励行	・アイドリングストップの遵守 ・急発進・急停止の抑制
	収集運搬車両の燃費向上	各車両の燃費向上	・給油時の燃費の確認 ・燃費計算後の反省項目の確認
		燃費目標達成車両台数の増大	・燃費優良車両の情報公開 ・提供情報の有効利用
		定期的車両点検整備	・定期点検日の設定と実施 ・自動車タイヤ空気圧の適正化 ・日々のメンテナンスの実地
一般廃棄物排出量の削減	搬出ゴミの分別	・分別基準の設定と分別ゴミ入れの設置 ・分別ゴミ入れへの遵守	
	搬出ゴミのリサイクル	・分別ゴミのリユース ・分別ゴミの適正な業者への引き渡し	
産業廃棄物の削減	産業廃棄物の分別	・分別廃棄物入れへの遵守 ・産業廃棄物分別マニュアルの確認	
産業廃棄物の再資源化	産業廃棄物のリサイクル	・分別廃棄物入れへの遵守 ・分別ゴミの適正な業者への引き渡し	
水使用量削減	節水コマや蛇口の工夫	・水道蛇口の漏水防止 ・トイレ使用時の適正使用	
	解体作業中の散水手順の遵守	・解体工事散水手順書の更新 ・手順書に基づく散水方法の遵守	
グリーン購入の推進	グリーン購入マニュアルの作成	・グリーン購入マニュアルの確認	
	マニュアルに基づく注文の実施	・備品購入時のマニュアル確認	
環境配慮サービスの提供	紙使用量の削減	・情報漏えい回避資料以外の裏紙使用 ・資料の電子文書化の推進	
	現場付近の清掃	・現場付近の清掃基準の作成 ・基準に基づく清掃の励行	
	エコキャップの回収	・自販機横にエコキャップ回収BOXの設置	

### ⑧ 環境経営目標の実績(2022年6月1日～2023年5月31日)

No	環境経営方針項目		基準値	目標	実績	達成度	
1	二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	CO <sub>2</sub> 排出量 200,000 kg-CO <sub>2</sub> /年	200,000	121,160	○ 61%	
		燃費目標達成車両台数の増大	軽油燃費 5.00 km/L	5.00	5.00	○ 100%	
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	90 kg/年	90	115	× 128%	
4	産業廃棄物の再資源化(リサイクル)リサイクル法に基づく(木くず、コンクリート破片、アスファルト・コンクリート破片) 自社分		% / 年	70%	82%	○ 117%	
4	産業廃棄物の再資源化(リサイクル)リサイクル法に基づく(木くず、コンクリート破片、アスファルト・コンクリート破片) 委託分		% / 年	70%	79%	○ 113%	
4	産業廃棄物の再資源化(リサイクル)リサイクル法に基づく(木くず、コンクリート破片、アスファルト・コンクリート破片) 合計分		% / 年	70%	78%	○ 111%	
5	水使用量の削減		水道使用量 300 m <sup>3</sup> /年	300	375	× 125%	
6	化学物質の削減		(PRTR法の対象物質は取り扱っていない)				
7	グリーン購入の推進		グリーン購入マニュアル	マニュアルに基づく注文の実施	マニュアルに基づく注文の実施	○	
8	環境配慮サービスの提供		紙使用量	90,000	90,000	38,500	○ 43%
			90,000 枚/年以下				
			地域清掃回数	50	50	50	○ 100%
			50 回/年				
エコキャップ回収量	3,500	3,500	11,395	○ 326%			
3,500 個/年							

注) 二酸化炭素排出係数はH25年東京電力実績の0.530kg/kWhを適用した。

⑨ 環境経営活動計画の取組結果とその評価及び次年度の取組内容

目標項目		今年度の取組内容	取組結果とその評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素排出量の削減	空調の適正管理	概ね達成できた。	継続して実施する。
		照明の適正管理		
		エコドライブの励行		
	収集運搬車両の燃費向上	各車両の燃費向上	概ね達成できた。	
		燃費目標達成車両台数の増大		
		定期的車両点検整備		
廃棄物削減排出	一般廃棄物排出量の削減	搬出ゴミの分別	内勤者が増えたことで目標値の見直しを行ったが、まだまだ目標達成は難しく感じた。再度目標値を再設定する。	できるだけゴミが出ないように、再利用できるものを使用する。目標値を変更する。
		搬出ゴミのリサイクル		
産業廃棄物の削減	産業廃棄物の分別	直接の再資源化ではないが分別をすることにより再資源化の一端を担う	継続して実施する。	
産業廃棄物の再資源化	産業廃棄物の分別	直接の再資源化ではないが分別をすることにより再資源化の一端を担う	継続して実施する。	
水使用量削減	節水コマや蛇口の工夫	洗車車両増加により使用量が大幅に増加し目標の見直しを行ったが、まだまだ目標達成は難しく感じた。再度目標値を再設定する。	目標値を変更して行う。節水コマや蛇口の工夫、散水手順の遵守は継続して実施する。	
	解体作業中の散水手順の遵守			
グリーン購入の推進	グリーン購入マニュアルの作成	グリーン購入マニュアルを作成し、それに基づき備品購入した結果、効果的に出来た。	継続して実施する。	
	マニュアルに基づく注文の実施			
環境配慮サービスの提供	紙使用量の削減	概ね達成できた。	継続して実施する。	
	現場付近の清掃	現場近隣周辺清掃マニュアルを活用し、達成出来た。	継続して実施する。	
	エコキャップの回収	概ね達成できた。	継続して実施する。	

## ⑩環境関連法規への違反、訴訟等の有無

- 環境関連法規の遵守状況をチェックした結果違反はありません。
- 関係当局から違反の指摘は過去三年間ありません。

※環境関連法規の取りまとめ表参照

## ⑪代表者による全体の評価と見直しの結果

環境方針、目標を定めて社員全員が内容を理解し取り組むことができました。

一人一人の取り組み意識向上が感じられました。

さらなる実践を継続していきたく思います。

環境関連法規の取りまとめ表

法令等の名称	該当箇所	対象施設・設備・業務等	チェック項目	チェック方法	担当者	実施日	代表チェック方法	実施日
建設業法	第3条 解体工事等の許可の取得及び5年毎の更新	解体工事	建設業法第3条の2第1項の許可の更新・有効期限の確認	原本の確認、申請時の確認	総務部	更新時	原本の確認(年に一回)	2023/5/31
建設リサイクル法 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律施行規則	第9条 分別解体等実施義務	(1)コンクリート/コンクリートと鉄から成る建設資材/木材/アスファルト・コンクリートが使われている構造物 (2)床面積合計80㎡以上の建築物の解体/床面積合計500㎡以上の建築物の新築・増築/請負金額1億円以上の建築物の修繕・リフォーム等/請負金額500万円以上の建築物の解体・新築等	・発注者に対し分別解体等の計画等に関する書面交付と説明・契約の締結・工事着手7日前までに建設リサイクル法の届出・分別解体の実施	建設リサイクル法届出書、請負契約書の確認	現場事務担当者	随時	社内完了報告書の確認	現場毎に完了時
	第16条 再資源化等実施義務	上記と同等	・再資源化等の促進・再資源化等完了に関する書面報告、再資源化等の実施状況に関する記録の作成と保存	再資源化等報告書の確認	現場事務担当者	随時	社内完了報告書の確認	現場毎に完了時
廃棄物処理法 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	規則第7条の2の2 第8条の5の3 表示義務	収集運搬車両	・産業廃棄物の収集または運搬の用に供する運搬車である旨の表示・氏名または名称・許可番号の表示	増車・減車の届出書の提出、車両の現物確認	総務部、施工スタッフ	随時	申請時書類の添付写真等の確認	申請時
	第6条の2 事業者の産業廃棄物の運搬、処分等の委託の基準	産業廃棄物委託契約書	契約の締結	契約書の内容確認	現場事務担当者	随時	PDFデータでの確認	月一回
	第12条の3 産業廃棄物管理票 第12条の5 電子情報処理組織の使用	産業廃棄物マニフェスト	【紙マニフェスト】A～F票の管理90日以内または180日以内の返却、保管期間5年間・交付状況報告 【電子マニフェスト】排出事業者は廃棄物を引き渡した後3日以内にマニフェストを登録、同様に運搬業者・処分業者は運搬・処分終了後3日以内に運搬・処分終了報告(ただし、登録・報告期限の3日以内に土日祝日及び年末年始(12月29日～1月3日)を含めない)	紙マニフェストの確認、統合型廃棄物業務パッケージシステム確認 マニフェストの確認、JWNET通知確認	現場事務担当者、施工スタッフ	随時	統合型廃棄物業務パッケージシステムからのエラーメッセージ JWNETのエラーメッセージ	受信時 受信時
道路交通法	第77条 道路の使用の許可	道路において工事もしくは作業をしようとする行為	管轄の警察署長にて道路使用許可申請書の提出	申請書の提出、手数料の納付	現場事務担当者、経理	随時	クラウド会計ソフトによる承認時	月一回
		建物から看板や日よけなどを道路に突き出して設置する場合(足場等も)	管轄の道路管理者にて道路占用許可申請書の提出	申請書の提出、占用料の納付	現場事務担当者、経理	随時	クラウド会計ソフトによる承認時	月一回
	第9条の10 安全運転管理者の業務	乗車定員が11人以上の自動車を1台以上所有している、その他の自動車を5台以上所有している企業	アルコールチェックの義務化(目視等での状況確認、酒気帯びの有無の記録及び一年間の保存、検知器の使用、常時有効に保持)	クラウド型アルコールチェックサービスにて確認	総務部、各事業所安全運転管理者	出勤時	クラウド型アルコールチェックサービスにてアルコール検知メッセージ	受信時
騒音規制法規	第14条 特定建設作業の実施の届出	杭打ち機、びょう打機、削岩機、空気圧縮機等を使用する作業	当該特定建設作業の開始7日前までの届出	届出書の提出	現場事務担当者、施工スタッフ	随時	書類押印時に確認	申請時
			防音パネル、防音シート等の騒音防止対策	現場確認	施工スタッフ	随時	社内完了報告書の確認	現場毎に完了時
振動規制法規	第14条 特定建設作業の実施の届出	杭打ち機、くい抜き機、ブレーカー、舗装版破砕機を使用する作業	当該特定建設作業の開始7日前までの届出	届出書の提出	現場事務担当者、施工スタッフ	随時	書類押印時に確認	申請時
			振動防止対策の実施	現場確認	施工スタッフ	随時	社内完了報告書の確認	現場毎に完了時
川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例	第65条 屋外作業に伴う騒音及び振動の防止	屋外において、資材の積卸し、運搬用機器の使用、自動車の運行等騒音及び振動を伴う作業を行う場合	騒音、振動、公害防止対策の実施	現場確認	施工スタッフ	随時	社内完了報告書の確認	現場毎に完了時
横浜市生活環境の保全等に関する条例	第108条 屋外作業に伴う騒音及び振動による公害の防止	屋外において、資材の積卸し、運搬用機器の使用、自動車の運行等騒音及び振動を伴う作業を行う場合	騒音、振動、公害防止対策の実施	現場確認	施工スタッフ	随時	社内完了報告書の確認	現場毎に完了時
大気汚染防止法	第18条 粉じんに関する規制	建築物に設ける建築設備を含む全ての建築物:解体部分の床面積が80㎡以上の解体工事・請負金額が税込100万円以上の改修工事/特定の工作物:請負金額が税込100万円以上の解体、改修工事	有資格者による事前調査・作業記録の作成、保存・事前調査結果の説明、掲示、報告・作業完了後の報告	事前調査の実施、届出書の提出、飛散防止対策、看板掲示	有資格者、現場事務担当者、施工スタッフ	随時	社内完了報告書の確認	現場毎に完了時
川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例	第67条 建築物等の解体等工事に係る石綿の飛散の防止	特定建築材料(吹付け石綿、石綿を含有する断熱材、保温材及び耐火被覆材)が使用されている建築物その他の工作物を解体、改造・補修又は封じ込め、囲い込みの作業を行なう場合	当該解体工事を開始する日の14日前までに届出書、工事完了時30日以内に届出書	特定粉じん排出等作業実施届出書	有資格者、現場事務担当者、施工スタッフ	随時	社内完了報告書の確認	現場毎に完了時
横浜市生活環境の保全等に関する条例	第99条 解体工事による大気汚染の防止に関する指導基準	特定建築材料(吹付け石綿、石綿を含有する断熱材、保温材及び耐火被覆材)が使用されている建築物その他の工作物を解体、改造・補修又は封じ込め、囲い込みの作業を行なう場合	当該解体工事を開始する日の14日前までに届出書、工事完了時30日以内に届出書	特定粉じん排出等作業実施届出書	有資格者、現場事務担当者、施工スタッフ	随時	社内完了報告書の確認	現場毎に完了時
フロン排出抑制法 フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	第5条 指定製品及び特定製品の管理者の責務	弊社所有の業務用エアコン	製品からの異音、製品外観(配管含む)の損傷、腐食、錆び、油にじみ、熱交換器の霜付き等の冷媒漏えいの徴候	3か月に一度の簡易点検、定期点検の実施と記録	大貫、松本	3か月に一度	まとめられた点検一覧表の確認(年に一回)	2023/5/31
	第6条 第一種フロン類充填回収業者等の責務	第一種特定製品	・業務用冷凍空調機器の事前の有無の確認と事前確認書の発行(3年保存)・引取証明書の交付等・有資格者によるフロン類の回収作業・回収量の年次報告	事前確認書の確認、引取証明書の確認、破壊業者からの請求書にて確認、年次報告書の作成	有資格者、現場事務担当者、総務部	随時	年次報告書確認(年に一回)	2023/5/31
家電リサイクル法 特定家庭用機器再商品化法	第6条 事業者及び消費者の責務	特定家電製品(エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機)	・家電リサイクル券の発行・家電廃棄時の適正処置	請求書の確認、家電回収の適正業者の確認	経理、施工スタッフ	随時	クラウド会計ソフトによる承認時	月一回
自動車リサイクル法 使用済自動車の再資源化等に関する法律	第8条 使用済自動車の引渡義務	自動車リサイクル法においては、トラック・バスなどの大型車やいわゆる構内車も含め原則全ての自動車	・リサイクル券の発行・自動車廃棄時の適正処置	請求書の確認、自動車回収の適正業者の確認	経理、施工スタッフ	随時	クラウド会計ソフトによる承認時	月一回